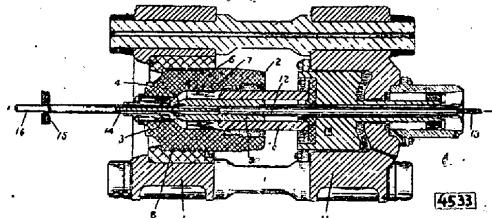


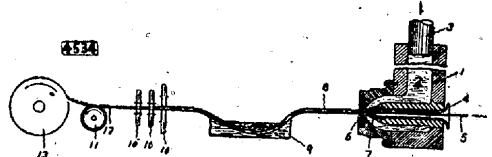
雜 錄

特 許 公 告 抄 錄

アルミニウム被覆ケーブルの製造方法 (1) 第 4533 號 [昭 18-9-4] (2) 昭 17-6-10, (3) 江村孝之外一名, (4) 住友電氣工業株式会社 本發明は管押出機のマンドレル兼用のガイドチューブを通してケーブル心を供給しつつ其の上に弛きアルミニウム管を押し出したる後絞リダイ又はロールにより壓縮せしむることを特徴とするアルミ被覆ケーブルの製造方法に係る。

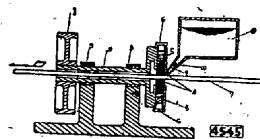


アルミニウム被覆ケーブルの製造方法 (1) 第 4534 號 [昭 18-9-4] (2) 昭 17-6-10, (3) 江村孝之外一名, (4) 住友電氣工業株式会社 本發明は押出機によりアルミニウム管をケーブル心上に弛く押し出したる後廻轉絞リローラー間を牽引通過せしめて之を減縮する事を特徴とするアルミ被覆ケーブルの製造方法に係る。



アルミニウム及アルミニウム合金溶接用溶接剤 (1) 第 4544 號 [昭 18-9-4] (2) 昭 17-4-9, (3) 拜郷武勇, (4) 三菱鑛業株式会社 本發明はアルカリ金属のハロゲン化物, アルカリ土類金属のハロゲン化物, 氷晶石重硫酸加里に銅の化合物又は銅の化合物に珪素の化合物, マンガンの化合物, チタン化合物の一種又は數種を添加せるものを配合する事よりなるアルミニウム及其合金の溶接用溶接剤に係る。

金属被覆アルミニウム電線製造装置 (1) 第 4545 號 [昭 18-9-4] (2) 昭 16-9-16, (3) 栗野英二, (4) 財團法人東電記念科学技術研究所 本發明は中空回轉軸の内部に処理すべきアルミニウム電線を貫通牽引せしめ該回轉軸内側に前記電線を機械的に摩擦する鋼線その他の耐熱刷子を附設し該刷子に接し被着すべき熔融金属を電線上に供給する口を配設せる金属被覆アルミ電線製造装置に係る。

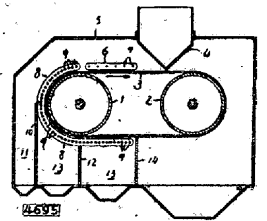


クロム鍍金物品の防錆法 (1) 第 4646 號 [昭 18-9-10] (2) 昭 17-5-30, (3)(4) 横谷長吉 本發明は常法によりクロム電鍍を行ひたる鍍金物を水洗するに先だち重クロム酸加里溶液により洗滌する

ことを特徴とするクロム鍍金物の防錆法に係る。

アルミニウム線接続方法 (1) 第 4681 號 [昭 18-9-10] (2) 昭 18-4-16, (3) 橋本誠一外一名, (4) 住友電氣工業株式会社 本發明は端子金具の挿入孔内に熔劑類を加へ又は加へずして錫鉛等の如き低融金属を熔融充填すると共に該熔融金属中に端部に反應鍍を被着したるアルミニウム線を加熱により該反應鍍を反應せしめつ一體に凝固せしむる事を特徴とするアルミニウム線接続方法に係る。

静電選鍍装置 (1) 第 4695 號 [昭 18-9-10] (2) 昭 18-1-20, (3) 菅野幸夫, (4) 三菱電機株式会社 本發明は水平軸の周りに回轉しその表面に粉末狀鍍石を供給せられ電氣的に接地せらるる導電性の筒體又は無端調帶該筒體は無端調帶の表面に沿ひ回轉方向に順次に配設せられ鍍石粉末を荷電せしむる複数のイオン化電線並該イオン化電線と同一極性の電位に在り且荷電鍍石粉末を筒體又は無端調帶面に壓着せしむる如き電解を形成する複数の不イオン化電線を備へて成る静電選鍍装置に係る。



鑄鐵製鑄型 (1) 第 4715 號 [昭 18-9-15] (2) 昭 18-3-31, (3) 水谷登, (4) 日本鑛業株式会社 本發明は適當數の突脚を附したる金属補強棒を鑄型鑄造の際鑄型の表面に鑄着し該補強棒は其長手に添ひ横斷面に於て約半は外部に露出せしめ突脚を型内に一體に熔着せしめたる事を特徴とする鑄鐵製鑄型に係る。

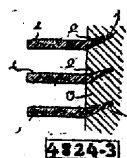
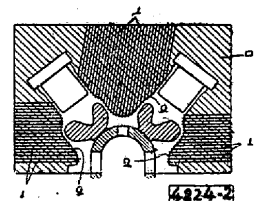
砂鑄型造型法 (1) 第 4716 號 [昭 18-9-15] (2) 昭 18-3-27, (3) 松家勝男外二名, (4) 中島航空金属株式会社 本發明は氣箒冠等の砂鑄型造型に當り造型片挿着孔を有する砂型面支持體を配列し其挿着孔を通して造型片を貫挿支持し之に對し砂を充填したる上造型片を砂型面支持體より引抜き支持體を取脱して砂鑄型を構成する事を特徴とする砂鑄型造型法に係る。

放熱器等に於ける鑄の鑄込方法 (1) 第 4824 號 [昭 18-9-20] (2) 昭 16-4-30, (3)(4) 小山彦次郎 本發明は各放熱鑄の鑄込部縁邊を先に至るに従つて漸次高さを増大せしむると共に肉厚を漸減せしめたる細き波曲形狀に屈曲せしめ該放熱鑄を鑄型に配列し之に湯を注入せしむることにより放熱鑄の波曲部に於てその先端なる薄肉

第 1 圖



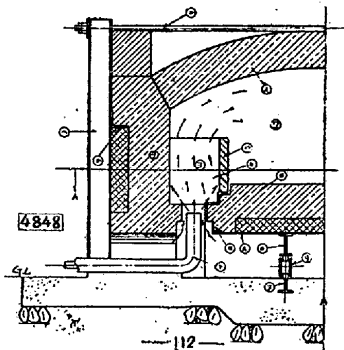
第 2 圖



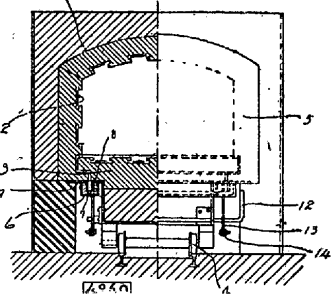
の波高部分と器體とを一體に熔合せしむる事を特徴とする放熱器等に於ける鑄込方法に係る。

低カラット金合金 (1) 第 4847 號 [昭 18-9-20] (2) 昭 17-8-10, (3) (4) 稻見角治郎 本發明は Ti 0.01~3, Si 0.01~3, Al 0.01~5, Zn 1~30, Ni 0.01~5, 或は Cr 0.01~5 或は兩者, Cu 5~55, Ag 1~30% と Au とよりなる低カラット金合金に係る

臺車型爐の燃焼装置 (1) 第 4848 號 [昭 18-9-20] (2) 昭 16-8-19, (3) (4) 中西正信 本發明は臺車の端部上方に熱傳導性大なる衝立を設け該衝立を爐壁との間に設けたる耐火煉瓦壁にて支持せしめ數個の燃焼室を形成し之に各一個のバーナーを垂直に導入せしめ該バーナーと臺車及燃壁間に適當なる間隙を設けしむると共に臺車と衝立及耐火煉瓦壁との間に小間隙を與へて臺車の出入に支障なからしめたる臺車型爐の燃焼装置に係る。



臺車式爐に於ける外氣侵入防止装置 (1) 第 4849 號 [昭 18-9-20] (2) 昭 16-12-29, (3) 佐藤茂章, (4) 日本電爐工業株式會社 本發明は爐床の周圍を圍繞せる砂入樋枠を昇降自在に嵌装し爐床の周側及爐壁並に前扉内側に突設せる外氣遮斷板と係合離脱自在とする臺車式爐に於ける外氣侵入防止装置に係る。



火炮砲身製作法 (1) 第 4850 號 [昭 18-9-20] (2) 昭 16-9-19, (3) (4) 上島慶篤 本發明は強靱なる合金鋼を外殻とし同心圓的に強力不銹鋼を鑄込みインゴットを作り之を適宜に壓延し中心を削取り中空體とし内層たる不銹鋼を焼入し更に内部に壓搾空氣その他の流體を通過冷却しつつ外殻たる強靱なる合金鋼を加熱し焼戻して外層は強度頗る大に内層は硬度最高なる圓筒たらしむる事を特徴とする火炮砲身製作法に係る。

バイト製造法 (1) 第 4852 號 [昭 18-9-20] (2) 昭 16-5-13, (3) (4) 松繩信太 本發明はバイト柄杆の先端部二段部を設けその一邊を傾斜せしめ高速度鋼より成る刃片の一端に傾斜部を設け前記一邊と傾斜部との間に金屬棒を嵌合し刃片の裏面部並に傾斜部を同時に抵抗熔接せしむる事を特徴とするバイトの製造方法に係る。

金屬柱狀體の鑄造方法 (1) 第 4917 號 [昭 18-9-25] (2) 昭 18-3-27, (3) 谷口光平外二名, (4) 日本製鐵株式會社 本發明は湯口と排出口とを有する縦型鑄型内に注入せる熔湯柱の全部或はその一部が熔融状態にある間に一定時間を経て異種材質の熔湯を押し上げ式にて注入し以て先に注入せる熔湯柱の一部分を排出口より排除して該柱の長さの一部を異種材質にて置換する事を特徴とする金屬柱狀體の鑄造方法に係る。

造塊に際し鑄型内に於て珪素熔鋼の流動性を保持し鑄肌を良好ならしむる方法 (1) 第 4918 號 [昭 18-9-25] (2) 昭 18-3-27, (3) 中山貫一, (4) 日本製鐵株式會社 本發明は熔鋼に悪影響なく浮游性を有し且燃焼する材質を以て作られたる棒の平面形狀を鑄型の斷

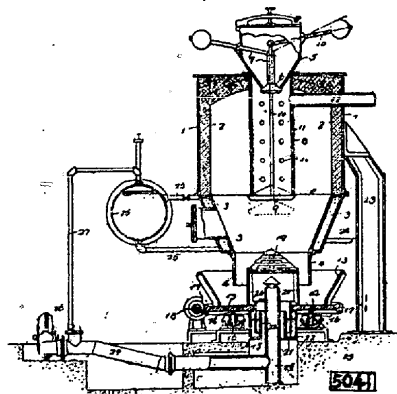
面に於ける内側多角形に相似ならしめ之を熔鋼を押し中靜かに鑄型中に投入する造塊に際し鑄型内に於て珪素熔鋼の流動性を保持し鑄肌を良好ならしむる方法に係る。

銅滓より鐵及鑄滓綿を製造する方法 (1) 第 4945 號 [昭 18-9-25] (2) 昭 16-12-23, (3) 重野宗廣外一名, (4) 住友鑛業株式會社 本發明は銅鑄に炭化石灰を銅鑄の含有鐵分百分率の 38~45% に相當し且鐵分を除去したる殘餘の鑄滓の成分をして珪酸 1g 分子に對し石灰 0.65 g 分子以下にあらしむる如く添加することを特徴とし之を加熱する事により銅鑄中の鐵分を金屬鐵として回収すると同時に殘餘の鑄滓を利用し鑄滓綿を製造する事よりなる銅鑄の鐵及鑄滓綿の同時回収方法に係る。

アンチモンの電解製鍊法 (1) 第 5040 號 [昭 18-9-30] (2) 昭 16-3-13, (3) 三戸美好, (4) 日比野國勝 本發明は硫化アンチモンの硫化アルカリ溶液を電氣分解に附し金屬アンチモンを製造するに當り隔膜を用ひ前記溶液を陰極液とし陽極液としては炭酸アルカリ水溶液を用ひ電解を行ひ電流效率低下したる後陰極液は再び硫化アンチモンの抽出に一方電解中陰極液中に増加したる硫化アルカリを炭酸瓦斯處理に依り炭酸アルカリとして陽極液中に減少したる炭酸アルカリの補充に供し陽極液は炭酸瓦斯を以て處理し炭酸曹達溶液に再生し陽極液として反覆利用する事を特徴とするアンチモンの電解精鍊法に係る。

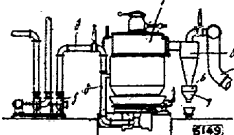
ニッケル、コバルトの電解分離法 (1) 第 5041 號 [昭 18-9-30] (2) 昭 17-3-11, (3) 穴澤健次外一名, (4) 財團法人古河理化學研究所 本發明は Ni, Co の鹽化物溶液或は鹽酸又は食鹽等を添加せる硫酸鹽溶液を用ひこの液中の鹽化物としての鹽素量を 11 に付 4 g 以上存在せしめ且その水素イオン濃度を 1~6 の範圍に保持して電解する事を特徴とする Ni, Co の電解分離法に係る。

瓦斯發生爐 (1) 第 5146 號 [昭 18-10-5] (2) 昭 17-4-23, (3) (4) 關屋知時 本發明は爐主體の中央部に上方を給炭器に連絡せしめ一部に外方への瓦斯誘導管を附し周圍に數多の瓦斯通孔を穿設し下端に開閉蓋を有する筒狀の乾筒筒を垂下せしめ爐主體内にて發生する瓦斯を乾筒筒を経て誘導管に至らしむべくしたる瓦斯發生爐に係る。



發生爐瓦斯の分離清淨装置 (1) 第 5149 號 [昭 18-10-5] (2) 昭 17-10-19, (3) (4) 荻野三郎 本發明は發生爐に連續してサイクロンコレクターを設置し發生爐より流出するガスを直ちにこのサイクロンコレクター中に突入せしめガス中に含まるる炭灰飛塵を瓦斯

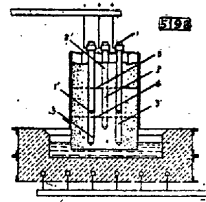
中より分離せしむ可くなしたる装置に於てサイクロンコレクターの下部に之に連續して堆塵筒を設けこの堆塵筒の頂部並に底部に夫々炭灰飛塵の落下孔及排出孔を設け落下孔の圓錐形閉塞體を槓杆作用にて閉止せしむ可くし落下孔を開放したる場合槓杆の一部にて排出孔の開閉蓋版の開放を抑止制御し以て落下孔を閉止す



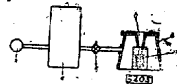
るに非ざれば排出孔を開放する事能はざらしめたる事の特徴とする
發生爐瓦斯の分離清淨装置に係る。

アルミニウム接合方法 (1) 第 5196 號 [昭 18-10-5] (2) 昭 17-3-11, (3) 更井秀治郎, (4) 東京芝浦電氣株式會社 本發明は被接合アルミニウム間に銅或は銅合金の薄層を接續媒體として介在せしめ之等を抵抗熔接法により接合せしむる事の特徴とするアルミニウム接合方法に係る。

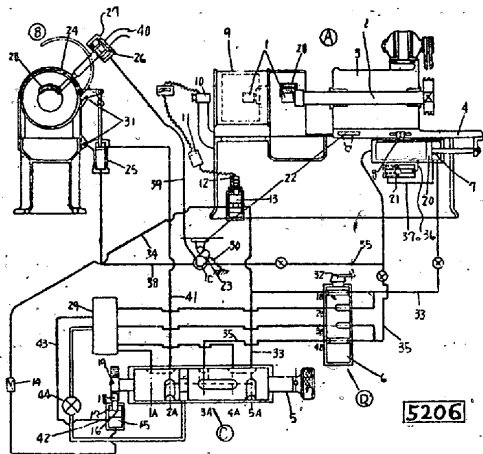
連續電極 (1) 第 5198 號 [昭 18-10-5] (2) 昭 14-10-18, (3) 伊ルイギー, マンフレヂニイ, (4) 諾デツトノルスケ, アクチャーゼルスカツプ, フォーア, エレクトロケミスク, インヂュストリー 本發明は電極中に堅方向に數個の中質或は中空の接觸子を挿入しその中少くとも一個を燒成部分に達せしめて給電の用に供し電極の消耗下降に従ひて之が熔融爐に接近する時引抜きて夫より上方に位置せる次の接觸子によりて給電すべからしめ爐の裝填並に爐瓦斯の排除は接觸子を引抜きて形成したる開口或は中空接觸子を通して行ふべくなしたる連續電極に係る。



氣筒冠鑄造法 (1) 第 5205 號 [昭 18-10-11] (2) 昭 18-4-8, (3) 松山端外一名, (4) 中島航空金屬株式會社 本發明は氣筒冠砂型に對し空氣引抜装置を備へたる鑄造容器を蓋覆し該容器中の空氣を引抜き砂型内外に生ずる壓力差により砂型全外周方向に氣流を生ぜしめて氣筒冠砂型中に熔湯を注入する事の特徴とする氣筒冠の鑄造法に係る。



遠心鑄造機 (1) 第 5206 號 [昭 18-10-11] (2) 昭 18-3-24,



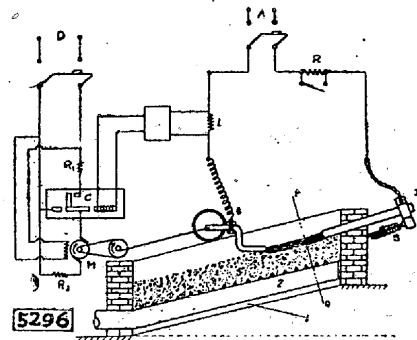
(3) 山崎榮治外一名, (4) 三菱重工業株式會社 本發明は回轉主軸に取着けられたる被鑄造物外筐を爐内の所定位置に搬入し及該位置より爐外へ搬出する装置と爐内に於て該外筐内面に鑄込まれたる被鑄造物體が一定温度に加熱せられたる時感温装置により制御せらるる部材を介して上記搬出装置を起動せしむる装置と爐外に搬出せられたる被鑄造物體を所定の位置に停止せしむる装置と被鑄造物體が所定の位置に停止せる時冷却水放出装置を動作せしむる装置とを具備する事の特徴とする遠心鑄造機に係る。

アルミニウム輕合金合せ板 (1) 第 5229 號 [昭 18-10-11] (2) 昭 16-5-1, (3) 石川正外一名, (4) 古河電氣工業株式會社 本發明は Zn 0.5~4.0, 殘部 Al よりなる合金を以て被覆せる Mg 4~

10, Mn 又は Cr 0.1~0.5, 殘部 Al よりなる合金を表材とし強力アルミニウム合金を心材とするアルミニウム輕合金合せ板に係る。

齒科用合金 (1) 第 5230 號 [昭 18-10-11] (2) 昭 16-7-9, (3) (4) 松井角平 本發明は Ag を主材とし之に Cd 0.1~9, Zn 0.1~3.0, Sn 0.1~3.0, Mn 0.1~5% の範圍に於て上記各成分の固溶限度に於て適宜含有せしめたる事の特徴とする齒科用合金に係る。

粉鑄還元電氣爐裝置 (1) 第 5296 號 [昭 18-10-11] (2) 昭 17-2-12, (3) 藤川頼彦, (4) 鐘淵實業株式會社 本發明は原鑄その他の裝入物を直接抵抗として之を加熱還元冶金する横型直接抵抗式電氣爐に於て裝入試料の表面の通電徑路の方向が 5~30 度の傾斜なる如く爐體を傾斜せしめ前記通電徑路の下方爐體底部には通知空洞を埋設し裝入試料の上部空間との間に通電下の裝入物を通して靜



かに通氣が行はるる如くし且通電方式としては一端の固定電極に對向して延長されたる長き放電徑路の全域に互りて移動すべき遊走電極により低電壓通電を可能ならしめ通電徑路の裝入試料は通電方向に前記固定電極を以て壓縮すべくせる粉鑄還元爐に係る。

11 月中臨時工業品規格統一調査會委員會名並に其の議題

第 1 部會

- 1. 第二委員會 11-9
 - 1. 黃銅條(臨時規格)に關する意見回答の件(自動車統制會提出)
 - 2. アルミニウム板規格案
 - 3. 母線用アルミ帶規格案

第 2 部會

- 2. 第九委員會 11-16
 - 1. V ベルト
- 3. 第二十六委員會 11-1
 - 1. 電氣絶縁用酸化チタン及同分析方法
 - 2. 電氣絶縁用滑石及同分析方法
 - 3. 高アルミナ質耐火物(改正)
 - 4. 光學ガラス製造用原料藥品(改正)
- 4. 臨時第八委員會 11-5 } 2 日 2 回
11-29
- 1. 活字 11-6
- 5. 石油工業裝置打合會 11-13 } 5 日 5 回
11-20 }
11-22 }
11-26 }

(6 日, 20 日)

- 1. 石綿被覆銅ヒモパツキン
- 2. 銅軸石綿パツキン

- 3. 耐酸パツキン
- 4. アマゾンパツキン使用実績
(13日)
- 1. 差壓流量計
- 2. 差壓流量計註文仕様書
(22日, 26日)
- 1. 石油工業装置用計器關係規格
 - 1. 差壓發生器
 - 2. 空氣作動式調節計
 - 3. 差壓液面計
 - 4. 電鍵切換スイッチ
 - 5. ダイアル切換スイッチ
 - 6. 保護管
 - 7. 空氣作動式浮子型液面調節器
 - 8. 燃料工業用計器通則

第3部會

- 6. 第十委員會 11-17 } 2日2回
11-18 }
 - 1. 進相低壓蓄電器規格案(電氣協會提出)
- 7. 第十六委員會 11-4 } 2日2回
11-5 }
 - 1. ワニス
 - 2. ワニス布目テープ
 - 3. ワニス斜目テープ
 - 4. ゴムテープ(電氣用)
 - 5. 純ゴムテープ(電氣用)
 - 6. ワニス布規格改正

各規格案(日本電氣絶縁布工業組合提出)

第4部會

- 8. 第一委員會 11-4
 - 1. ボルト孔の寸法
 - 2. 工作機械用T溝ナット
- 9. 第一委員會第三小委員會 11-11
 - 1. メートル細目ねぢの公差
- 10. 第二委員會 11-17
 - 1. フランジと管との關係
 - 2. 温度と最高壓力との關係
 - 3. フランジ規格改正
- 11. 第四委員會第二小委員會 11-5
 - 1. ねぢ切用ホブ
 - 2. スプラインホブ
 - 3. ミクロンホブ
- 12. 第十二委員會 11-19
 - 1. 自動車用ユニオン管接手
 - 2. セレクション
 - 3. 自動車用スプライン接手
- 13. 臨時第二委員會 11-16
 - 1. 板子給炭機
 - 2. コーン破碎機
 - 3. ピストン式水選機
- 14. 臨時第五委員會 11-9
 - 1. アンモニア壓縮機
- 15. 臨時第六委員會 11-18
 - 1. 遠心分離機
 - 2. 回轉乾燥機

- 16. 臨時第七委員會 11-18
- 1. 空氣機具
- 17. 臨時第八委員會 11-1
 - (1日, 20日) 11-8 } 5日5回
11-20
11-22
11-26
 - 1. フロツクゲージ
(8日, 26日)
 - 2. 硬試験機
(22日)
 - 3. マイクロメータ

新刊雜誌參考記事主題

- アルミニウム** 3~5 昭 18-9 ○鑄込温度に關する一考察
津田寛
- Bulletin of the Chemical Society of Japan** 18~9 昭 18-9; 18~10 昭 18-10 ○Studies on Nickel and Cobalt in Mineral Springs (II). Nickel and Cobalt Contents of Tentoku Mineral Spring, Saga Prefecture Nobuyuki Tanaka; 18~11 昭 18-11
- 黒業協會誌** 51 ~ 609 昭 18-9 ○平爐用煉瓦としての若狹珪石に就て 加藤, 品川 ○燃燒工學に關する基礎的研究 5 澤井, 功力 ○βアルミナに關する研究 2 加藤, 山内 ○A砥粒中に存在する非晶質に就て 1 宮部, 西ヶ谷 ○クロバ發熱體の製法に就て 佐藤純夫; 51 ~ 610 昭 18-10 ○滿洲産マグネサイトの基礎研究 3 茂木, 田崎 ○βアルミナに關する研究 3 加藤, 山内 ○A砥粒中に存在する非晶質に就て 宮部他 3名
- 電氣製鋼** 19 ~ 10 昭 18-10 ○Si-Mn-Cr 鋼の恒溫變態に就て 清水他 2名 ○回轉爐に依る海綿鐵の製造 2 淺野, 中村; 19 ~ 11 昭 18-11 ○粒鐵を原料とせる特殊鋼製造試驗 臨時製鋼研究會 ○鋼材の検査法(7) 破面試験 野田一六
- 衛生工業** 17~9 昭 18-9; 17~10 昭 18-10
- 技研** 3~5 昭 18-9 ○鍛接管材としてトーマス鋼と平爐鋼の材質比較研究 菊地, 岩藤 ○恒溫變態とS曲線 山下外 2名 ○焔の本質 野村盛文
- 哈爾濱工業大學技術報告** 1號 庚 9-9
- 日立評論** 26~11 昭 18-11 ○熔接特輯號; 26~12 昭 18-12 ○高速度鋼に於ける炭素, クロム及タンゲステンの影響 菊田多利男 ○燃燒法による鐵鋼中全硫黃の定量 片山武司 ○酸化期に於ける鋼熔落試料の變化に就て 山本, 下川 ○球狀パーライトが鍛鐵に及ぼす不純物の影響 木村庶幾 ○美麗なる生型鑄鐵小鑄物製作に就て 丹, 御幡
- 鑄物** 15 ~ 7 昭 18-7 ○キニボラ電氣爐の耐火物座談會 ○塗型材の燒着機構に就て 4 鹿島次郎 ○石炭粉含有硼砂に就て 藤田, 三須 ○鼠鐵鑄物の物理的性質に及ぼす砂型の影響; 15~8 昭 18-8 ○耐火物に關する研究會記事 ○鑄鐵製品の電氣熔接に就て 森永武次
- 化學會誌** 64 ~ 9 昭 18-9; 64~10 昭 18-10 ○鐵ニッケル合金のα-γ變態とそれを觸媒とするアムモニアガスの接觸分解速度との關係(2)ニッケル含有量に就て 小谷野格文; 64 ~ 11 昭 18-11 ○前號第3報表面處理の影響 小谷野格文
- 科技動員** 2 ~ 11 昭 18-11; 2 ~ 12 昭 18-12; 3 ~ 1 昭 19-1
- カーボン評議** 10 ~ 6 昭 18-12 ○滑り摩擦に伴ふ摩耗に就

て 司馬二郎

機械學會 46 ~ 319 昭 18-10 ○軟鋼丸棒の直徑部に小さい圓孔をあけた場合の疲限度 南大路, 大久保; 46 ~ 320 昭 18-11

機械學會論文集 9~36 △1部○炭素鋼の内部摩擦に就て 木谷, 財滿 △2部 ○廢ガス損失の新計算圖表の新算法 石谷清幹△4部

機械と材料 79 ~ 995 昭 18-11; 79 ~ 996 昭 18-12

金屬 13 ~ 12 昭 18-12 ○特殊鋼の顯微鏡寫眞撮影上の實際上の諸注意 清水定吉 ○合金鐵の化學分析法 (b) プナジウム鐵の分析法 鹿島, 石原

金屬學會 7 ~ 9 昭 18-9 ○冷間加工せる金屬の中性子線による研究, 中性子線による固體の研究 (I) 木村, 橋口 ○低炭素及高炭素高速度鋼に及ぼすコバルトの影響 小柴定雄 ○高速度鋼に於ける各種元素の影響(2) 菊田, 小柴 ○工具鋼の熱處理要領 大和久重雄; 7~10 昭 18-10 ○疲勞割の發生及びその進展 大柴文雄 ○高速度鋼に於ける各種元素の影響(3) 菊田, 小柴 ○工具鋼の熱處理要領 大和久重雄 ○工具用時效性鐵合金 (I) 川口寅之輔

九大工學部彙報 18 ~ 1 昭 18-6; 18 ~ 3 昭 18-9

九州鑛山學會 昭 18-9, 昭 18-10, 昭 18-11

京大工學部紀要 11 ~ 3 昭 18-11 ○Studies on Fatigue of Mild Steel by a Corrosion Method T. NISHIHARA & M. KAWAMOTO

鑛業會誌 59 ~ 703 昭 18-10 ○小型熔鑛爐に就て 國弘勳 59 ~ 703 昭 18-11; 59 ~ 704 昭 18-12 ○浮選に関する研究 和田, 市川

工業化學 46 ~ 9 ~ 547 昭 18-9; 46 ~ 10 ~ 548 昭 18-10; 46 ~ 11 ~ 549 昭 18-11

滿洲冶金學會 5 ~ 40 昭 18-8 ○Sn, Al を含む Mg 合金に就て 室町, 小川 ○通遠堡産滿鐵鑛石處理法に関する研究 (II) 千葉喜美 ○初品の晶出時に磁力線を與へた場合の影響 森永卓一 ○通遠堡産滿鐵鑛石の選鑛に就て 山邊他 2 名 ○滿洲に於ける製鐵事業 島岡亮太郎

三菱發動機研究報告 6 ~ 7 昭 18-10 ○弛緩試験による各種鋼材の耐熱抗力の比較 關口, 倉光; 6 ~ 8 昭 18-12 ○鋼材の減衰能 (1) 栗林, 柴田 ○窒化鋼の疲勞試験 秋月二郎

化學總覽 2 ~ 17 ~ 10 昭 18-10

理研彙報 22 ~ 6 昭 18-6 ○鑄鐵共晶黑鉛の片狀化 飯高一郎; 22 ~ 8 昭 18-8 ○火藥の燃焼によつて燒蝕された鐵の表面の電子廻折による研究 桂井, 井口; 22 ~ 9 昭 18-9

神鋼 7 ~ 28 昭 18-12 ○鑄造用アルミニウム合金に及ぼす鐵の影響に就て 早川太郎

採鑛冶金 21 ~ 10 昭 18-10; 21 ~ 11 昭 18-11 ○金屬及合金の内部構造に関する概念 (1); 21 ~ 12 昭 18-12 ○稀有金屬に就ての概要 津田昌利

任友電氣彙報 28 昭 18-4 ○高張力非磁性鋼線の諸性質に就て 江塚他 2 名; 29 昭 18-7

水曜會誌 11 ~ 6 昭 18-9 ○鹽素化油を使用せる浮選試験金澤他 2 名 ○浮沈選鑛に於ける固體懸垂重液の粘度測定 津山茂 ○マグネシウム合金に於けるマンガン液態溶解度に就て 西村, 大西 ○硫酸マンガンの無隔膜電解法に就て 西原清康

Scientific Papers 39, 40, 41

製鐵技術總覽 3 ~ 9 昭 18-9

石炭統制會 1 ~ 3 昭 18-10; 1 ~ 4, 5 昭 18-11, 12

大陸科學院研究報告 7 ~ 7 康 10-10; 7 ~ 8 康 10-11; 7 ~ 9 康 10-11

大陸科學院彙報 7 の號外 康 10-9 ○直木前院長追悼號
 地學雜誌 55 ~ 656 昭 18-10; 55 ~ 657 昭 18-11
 朝鮮鑛業會 26 ~ 7 昭 18-7 ○小型熔鑛爐用煉炭粘結劑試驗報告 在津勝治; 26 ~ 8 昭 18-8
 造船協會雜誌 258 昭 18-9; 259 昭 18-10
 電氣化學 11 ~ 10 昭 18-10
 電氣評論 31 ~ 10 昭 18-10; 31 ~ 11 昭 18-11
 大日本電氣會誌 (電氣協會雜誌改題) 263 昭 18-11
 電氣學會 63 ~ 11 ~ 664 昭 18-11
 動力 86 昭 18-9; 87 昭 18-11
 土木學會 29 ~ 10 昭 18-10; 29 ~ 11 昭 18-11
 土木試驗所報告 73 昭 18-11
 技術評論 249 昭 18-12
 軍事と技術 10, 11, 12 昭 18-10, 11, 12
 華北電信電話研究雜誌 3 ~ 2 昭 18-12
 化學機械 7 ~ 3 昭 18-9
 海外經濟事情 昭 18-10 號附錄
 機械技術 31 ~ 12 昭 18-12
 建築雜誌 57 ~ 701 昭 18-8; 57 ~ 702 昭 18-9
 建築士 33 ~ 4 昭 18-10, 11, 12
 愛知航空機研究報告 1 ~ 1 昭 18-10
 工業國策 6 ~ 10 昭 18-10 ○特殊鋼の増産と現有設備の活用 渡邊三郎; 6 ~ 11 昭 18-11
 航空學會 10 ~ 101 昭 18-9; 10 ~ 102 昭 18-10
 航研報告 253-265, 267-273 昭 18-4~9; 昭 18-1~8 の目録
 航研彙報 225-228 昭 18-5~8
 滿洲の技術 20 ~ 173 昭 18-10
 名古屋工業會 232 昭 18-11; 233 昭 18-12
 燃料協會 22 ~ 252-255 昭 18-9, 10, 11, 12
 學士院紀事 19 ~ 9 昭 18-11
 貨銀調査月報 66, 67 昭 18-11, 12
 自然科學と博物館 14 ~ 10, 11 昭 18-10-11
 商工經濟 16 ~ 6 昭 18-12
 生産技術 29 ~ 11 昭 18-11; 29 ~ 12 昭 18-12
 中央航研彙報 2 ~ 6 昭 18-6
 東芝研 18 ~ 11, 12 昭 18-11, 12
 亞細亞研究 昭 18-9, 10
 滿洲國地質調査所彙報 108 康 10-8
 同 上 要報 18 康 10-8

(文 獻)

全科技聯科學技術蒐錄 4 の (8) ○トーマス鑛滓の選鑛方法に就て (F. Willems: 富澤譯) ○歷延ロールの交換 (D. Timmermann: 富澤譯) ○歷延鋼塊の表面に及ぼす加熱爐作業の影響 (Aloys Fischnich: 富澤譯)
 日本製鋼所技術部文獻翻譯 ○146 備析及び鐵鍊度が大型鐵鋼品の強度に及ぼす影響 (Werner Coupette: Stahl u. Eisen 13 Nov. 1941 Ht. 46) ○148 歷延機 (2) (J. Puppe, G. Asbek u. G. B. Lobkowitz: Handbuch des Eisenhüttenwesens Walzwerkswesen, Zweiter Bd.) ○低炭素 1% クロム鋼に及ぼすチタンの影響 (Iron Age, Vol. 148 No. 5) ○150 ○151
 造船協會會報 71 昭 17-12
 電氣工學年報 昭和 18 年版
 試驗調査事項年報 (內務省土木試驗所) 昭和 17 年版 昭 18-9
 國際圖書交接資料 1, 2 昭 18-3, 10